



水海道有料道路

通勤時間帯無料化について

答弁

近隣市町村と協議を進めていき

都市建設部長

無料措置の実施日を5月25日とした経緯を伺う。

都市建設部長

2月定例会議議決後、県道路公社と協議し、4月中旬に国土交通省の許可を取得した。その後1か月程度の周知活動を実施し5月25日開始予定となった。

議員

5月25日がさらに延期になった理由を伺う。

都市建設部長

新型コロナウイルス感染症により、茨城県は特定警戒都道府県の指定を受けたことに伴い、外出自粛が要請され、車の流入が減少したため延期した。

議員

市で行った有料道路利用者アンケートによると、利用率は常総市27・3%、坂東市21・7%、つくば市18・4%となっている。近隣市町村長と時間帯無料化実施の合意はできていると聞いているが、現在の進捗状況を伺う。

たい

都市建設部長

坂東市との協議は進めており、6月の坂東市議会定例会において審議予定と聞いている。結果は迅速に報告する。

議員

利用者が多いつくば市との協議は進んでいるのか。

都市建設部長

コロナ禍の状況を踏まえ、現時点ではつくば市、つくばみらい市との協議は実施していない。自粛要請も解除され、今後、迅速に近隣市町村へ協力を要請行っていく。

議員

予算案の提出時に協議していた近隣市町村は坂東市だけなのか。

都市建設部長

2月定例会議の時点では、坂東市だけである。

議員

近隣市町村にまたがる交通体系は広域連携で進めるべきと考える。執行部の他市町村への対応を見守っていききたい。



新型コロナウイルス感染症に対する小中学校休校措置の学習面での対応と今後について

答弁

安心安全を確認するため、登校日や家庭訪問を設け、直接児童生徒に接しながら対応した

議員

学校休校に際して、児童・生徒に対し、学習面ではどのような対応をしたか。

教育委員会教育長

臨時休校中は登校日や家庭訪問等で、直接生徒に接しながら学習面について対応してきた。出題した課題は回収し、担任や教科担当の教員がチェックを行い、児童生徒の苦手な内容を把握し、授業再開に向け、今後の指導に生かすようにした。

議員

コロナ禍の現状において、教育のデジタル化は待ったなしの状況であるが、ICT教育環境の整備に向けての市の考えを伺う。

教育委員会教育部長

情報活用能力は、子どもたちが豊かな創造性を備え、未来社会の作り手として参画していくために大切な能力であり、その育成のため一人1台の端末やネットワーク設備などのICT環

境整備は必要不可欠なものである。GIGAスクール補助金や地方創生臨時交付金を活用し、整備を推進していく。

議員

学校再開後の部活動の大会などは開催するのか伺う。

教育委員会教育長

スポーツ関係では県民総合体育大会などはすべて中止となり、また文化部では吹奏楽コンクールなどの中止も決まっている。常総市としては、感染症のリスクやけがを考えればやらないという判断もやむを得ないと考えるが、その代わり、部活動への思いやここまで積み重ねてきた努力が生徒にとってどうあるべきかを考え、可能な限りの代替案も体育連盟などと相談しながら進めていく。

議員

常総市は昨年国体でハンドボール会場となり、ハンドボールにおいては最高の施設環境が整っている。中学校だけでなく高校や小学生の代替大会の開催に向け、検討していただきたい。

議員

常総市は昨年国体でハンドボール会場となり、ハンドボールにおいては最高の施設環境が整っている。中学校だけでなく高校や小学生の代替大会の開催に向け、検討していただきたい。